

# 日本発信の知的資産、ビジネスをめざして

## MESSAGE



株式会社メディアシーク 西尾 直紀氏

PROFILE ● (にしお・なおき) 代表取締役社長/36歳  
●経歴/東京理科大学工学部応用生物科学科卒業後、アンダーセンコンサルティングを経て現職 ●趣味/ジャズ鑑賞

「前職では、インターネットがここまで普及する以前から大手大業のネットビジネス戦略に関するコンサルティングを担っていました。非常に充実した全社生活を送っていましたが、いくつかの企業をコンサルテーションしている中、マネージャーになった頃から、一生に一度は独立してもいいかなと思いはじめました。そして起業の一番の大きなきっかけとなったのが、1モードの成功です。」

と設立の背景を語るのには、同社代表取締役社長の西尾直紀氏だ。クライアントからの要望でビジネスモデルの構築からシステムの開発・導入・運用までを行う同社では、企業が既存資産の活用を前提に、どのようにモバイルを連動すればビジネスとして成功するのか、ということを中心にコンサルティングしている。

最近では世界各国のモバイル関連企業は、日本の1モードに代表されるモバイル分野での成功事例を参考にしようとしており、外資系企業からのコンサルテーション依頼も増えているらしい。このような背景の中で、今後はやはり海外展開をいかに進めるのだろうか？

「例えば、コンピュータテクノロジーに関してはアメリカは最先端であり、彼らは開発した技術すべてをマニュアル・体系化して展開することで、ローヤリティ収入を得ている。知的資産ビジネスを展開している日本でもこれにあたるものは、モバイルインターネットの領域だと思っています。ですから、私は今までの経験を参考に、このビジネスを日本発の知的資産ビジネスとして事業展開していきたいと思っています。」

世の中のスピードが非常に早い現

在、今後このようなビジョンを展開する上で、これから2〜3年が勝負だと西尾氏は言う。設立後、一年足らずでマザーズ上場を達成した同社なら、氏のビジョンも近い将来に実現できるのではないだろうか。その時、日本、そして世界のモバイルビジネスの世界で同社が先駆者となっていることだろう。

## DATA

設立/2000年3月1日  
資本金/5億7984万5000円  
従業員数/28名  
事業内容/携帯端末をはじめとするデジタルメディアのコンサルティング  
所在地/〒106-0041 東京都港区麻布台2-3-5/Aビル6F TEL/03-3224-3113  
URL/http://www.mediasellect.co.jp

# IT市場に新しい価値観とサービスを提供するIT総合情報提供会社

## MESSAGE



株式会社メディアセレクト 松浦 義幹氏

PROFILE ● (まつうら・よしもと) 代表取締役社長/42歳  
●趣味/子供のサッカー観戦・カラオケ ●将来の夢/金・物欲ではなく、時代に即した価値観を常にもっている

「ビジネスマンの常識と言えは政治・経済は当たり前。ビジネスはさらに「IT」も加わり、これからは「IT」とどまらず、あらゆる人達が今後「IT」のトレンドを掴むのが必須事項となるであろう。又、「IT」の本質を「道真」として捉え企業やあらゆる人達が「IT」という「道具」をどう取り入れるかが大切。」と松浦氏は語る。電通通信社勤務後、1987年IDGコミュニケーションズに入社。Windows (PC) Worldなどの編集長を務めたIT誌の第一人者。当時日本で最大の展示会・コンファレンスであったWindows World Expoの初代総責任者なども務め、1997年1月より同社副社長、1999年1月より同社代表取締役社長に就任。出版事業の総責任者となる。後にIDGを円満退職。IT雑誌は

今まで一部のIT技術者向けであったが、その20年間の経験を生かして自身が「道真」としてあらゆる人達に伝えていきたい。その想を抱き、マイクロソフト株式会社にWindowsをベースとした製品の責任者であった加藤氏と共に共同経営者として株式会社メディアセレクトを設立。ITに特化した総合情報提供会社として出版・ITマッチングサービス・ITコンサルティングを事業の柱とし、従来ないIT化支援活動を行う。出版では今月で5周年となる「ITセレクト」があり、個人・SOHOレベルから大規模システムまであらゆる規模のIT投資を検討する向けのバイヤーズマガジンとして好評で、第2弾の予定もある。ITマッチングサービスやITコンサルティング活動を行う

他、横野村総合研究所と提携してWeb上での「CRNE」の提供と「その時代時代に合ったやり方でメディアを色々な方法で情報提供していく。ITが社会にもっと浸透していく為に役に立ちたい」と松浦氏。今後もメディアセレクトから目がはなせない。

## DATA

設立/2001年1月18日  
資本金/1億2800万円  
従業員数/22名  
事業内容/IT出版・コンサル事業  
所在地/〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-3 飛栄九段北ビル3階  
TEL/03-3512-2201  
http://www.mediasellect.co.jp

# 独創的技術に基づく注目の創薬ベンチャー企業が世界へデビューする

## MESSAGE



メドジーン バイオサイエンス株式会社 村山 正憲氏

PROFILE ● (むらやま・まさのり) 代表取締役/41歳  
●経歴/鹿児島出身。慶応大卒。ゴールドマン・サックス証券バイスプレジデントを経て01年5月社長就任 ●趣味/ゴルフ

「バイオベンチャー企業という聞こえはいいのですが、しっかりとした基盤になる技術が無ければ意味がありません。その点メドジーンバイオサイエンスではHGF(肝細胞増殖因子)を使った世界初の遺伝子治療薬の開発(特許取得済み)により、末期性血管疾患や虚血性心疾患などの治療に有効な新薬の開発で着実な研究の成果が出ています。」

と同社社長の村山正憲氏は語る。11パブルの崩壊後の有望な分野として医療・バイオは現在、国策としても今後非常に力を入れる業界でありポストITとしての期待も極めて高い。そうした中で未来医療として注目されている領域として、遺伝子治療、再生医療等の先端医療の領域がある。基礎医学と臨床医学の融合をキーワードに独創的で国際的な成果を達成し、日本を発信源とする未

来医療の新しい技術開発、すなわち遺伝子治療・核酸医薬及び新規ベクター等の先端領域での研究開発を通じて多くのプロジェクトの商業化の成功とともに社会への貢献という同社の期待と注目は非常に高いものがある。

設立から2年にしてすでに株主開の準備段階にあり、更に年内にアメリカ現地法人の設立、次いで来年にはヨーロッパ現地法人の設立など、次々と研究・開発環境の体制強化をワールドワイドで図り、まさにあらゆる面で積極的な動きを展開している会社である。勿論、事業としての成功が前提ではあるが現在40名のスタッフの多くが同社の技術力と将来性に共感し、ベンチャースピリットを持ったスペシャリスト集団として、日本発世界へ、の早期実現に向けて多くの外部協力を得て開発に注

力している。商業化への確かな自信と技術力を背景にまさにわが国のバイオベンチャーの先駆けとして今後の同社の動向にはあついで視線を注ぎたいものである。日本そして世界の未来医療革新を是非実現してほしいものである。

## DATA

設立/1999年 資本金/3390万4000円  
従業員数/42名 事業内容/遺伝子治療薬 HGF(肝細胞増殖因子)の研究・開発・製造、核酸医薬(デコイオリコ)の研究・開発・製造、新規ベクターの研究・開発  
所在地/(東京支社) 〒108-0014 東京都港区芝5-20-14 三田鈴木ビル  
TEL/03-5730-2630

# 何が人の幸せかを考え、新しいケアを確立していくヘルスケア企業

## MESSAGE



株式会社メネフィット 広本 進煥氏

PROFILE ● (ひろもと・しんかん) 代表取締役/36歳  
●経歴/三重県生まれ。星薬科大学卒。15歳で独立を決意し30歳で創業。現在もNPO、ボランティア活動等多忙

「国の社会保障システムの根幹が揺らいている昨今、社会全体でのケアを考え、ケアというものが当たり前のようになっている社会(コミュニティ)をつくること、また、自分の生き方、健康などを考えるセルフケアを実現することが目標です。」

株式会社メネフィット代表取締役の広本氏はこう語る。

薬を通じて地域の人の健康維持・増進に役立つという信念を持ち創業したのは、小さいコミュニティで始めた薬局だった。薬だけではなくケアを考え始めたのは在宅介護サービスを始めからだ。

「お店の窓口で接していた側面と違う面をお客様から教えていただきました。そこには生活があり、生死があり、さまざまな生き方があります。たまたまの重傷の方の連携があつてケアという言葉に込

さわしいものが実現できるのだ。医療や介護、福祉などのとられることなくケアを提供する会社として走り出しました。」

現在の事業内容は、調剤薬局・在宅訪問薬局・ドラッグデリバリー・特養老人ホーム薬剤・訪問介護・訪問入浴介護・訪問看護・ケア在宅リフォーム・身障者施設入浴介護。確かに多くのサービスを提供している。

「しかし、一番大切にしているのは小さなコミュニティの中で行われるケアを提供することです。よいケアを提供し、それを広めていきたい。そして社会全体の役に立ち、社会矛盾と戦っていききたいのです。」

在宅を中心としたケアの時代が今後やってくるだろう。その後はセルフケア(予防的ケア)の時代がやってくる。同社も在宅ケアから予防的ケアの分野まで十年先を見越したシ

システムを構築している。同社が社員に求めるのは資格の優劣や名前ではなく、資格にとわれない広範囲な知識や能力、資格者としての知識や能力を人間性だ。当社はお客様第一主義を徹底しておきます。この気持ちをケアの中に純粋に感じ取っていただけるための努力を惜しみません」

## DATA

設立/1997年 資本金/2500万円  
売上高/2億7千万円(平成13年4月期)  
事業内容/調剤薬局・在宅介護サービス  
所在地/〒152-7850 東京都目黒区大岡山1-1-12  
TEL/03-5701-7850

## MESSAGE



**PROFILE** ● (ひろもと・しんかん) 代表取締役/36歳  
●経歴/三重県生まれ。星薬科大学卒。15歳で独立を決意し30歳で創業。現在もNPO、ボランティア活動等多忙

# 何が人の幸せかを考え、新しいケアを確立していくヘルスケア企業

株式会社メネフィット

広本 進煥氏

「国の社会保険システムの根幹が揺らいでいる昨今、社会全体でのケアを考え、ケアというものが当り前のようになっている社会(コミュニティ)をつくること、また、自分の生き方、健康などを考えるセルフケアを実現することが目標です」

株式会社メネフィット代表取締役の広本氏はこう語る。

薬を通して地域の人々の健康維持・増進に役立てたいという信念を持ち創業したのは、小さいコミュニティで始めた薬局だった。薬だけではなくケアを考え始めたのは在宅介護サービスを始めてからだ。

「お店の窓口で接していた側面と違う面をお客様から教えていただきました。そこには生活があり、生と死があり、さまざまな生き方があります。たくさん専門職の方との連携があったこそケアという言葉にふ

さわしいものが実現できるのだと。医療や介護、福祉などにとられることなくケアを提供する会社として走り出しました」

現在の事業内容は、調剤薬局・在宅訪問薬局・ドラッグデリバリー・特養老人ホーム薬剤・訪問介護・訪問介護・訪問看護・ケア在宅リフォーム・身障者施設入浴介護。確かに多くのサービスを提供している。

「しかし、一番大切にしているのは小さなコミュニティの中で行われるケアを提供することです。よいケアを提供し、それを広めたい、そして社会全体の役に立ち、社会矛盾と戦っていきたいのです」

在宅を中心としたケアの時代が今後やってくるだろう。その後はセルフケア、予防的ケアの時代がやってくる。同社も在宅ケアから予防的ケアの分野まで十年先を見越したシ

## DATA

設立/1997年 資本金/2500万円  
売上高/2億7千万円(平成13年4月期)  
事業内容/調剤薬局、在宅介護サービス  
所在地/〒152-7850 東京都目黒区大岡山1-1-12  
TEL/03-5701-7850

システムを構築している。

同社が社員に求めるのは資格の優劣や名前ではなく、資格にとらわれない広範囲な知識や能力、資格者としての知識や能力そして人間性だ。

「当社はお客様第一主義を徹底しております。この気持ちをケアの中に純粋に感じ取っていただけるための努力なら惜しみません」

## MESSAGE



**PROFILE** ● (むらやま・まさのり) 代表取締役/41歳  
●経歴/鹿児島出身。慶応大卒。ゴールドマン・サックス証券バイスプレジデントを経て01年5月社長就任 ●趣味/ゴルフ

# 独創的技術に基づく注目の創薬ベンチャー企業が世界へデビューする

メドジーン バイオサイエンス株式会社

村山 正憲氏

「バイオベンチャー企業というところこそはいいのですが、しっかりとした基盤になる技術が無ければ意味がありません。その点メドジーンバイオサイエンスではHGF(肝細胞増殖因子)を使った世界初の遺伝子治療薬の開発(特許取得済み)により未病性血管疾患や虚血性心疾患などの治療に有効な新薬の開発を着実に研究の成果が出ています」

と同社社長の村山正憲氏は語る。

ITバブルの崩壊後の有望な分野として医療・バイオは現在、国策としても今後非常に力を入れる業界でありポストITとしての期待も極めて高い。そうした中で未来医療として注目されている領域として、遺伝子治療、再生医療等の先端医療の領域がある。基礎医学と臨床医学の融合をキーワードに独創的で国際的な成果を達成し、日本を発信源とする未

来医療の新しい技術開発、すなわち遺伝子治療、核酸医薬及び新規ペプチド等の先端領域での研究開発を通じて多くのプロジェクトの商業化の成功とともに社会への貢献という同社への期待と注目は非常に高いものがある。

設立から2年にしてすでに株式公開の準備段階にあり、更に年内にアメリカ現地法人の設立、次いで来年にはヨーロッパ現地法人の設立など次々と研究・開発環境の体制強化をワールドワイドで図り、まさにあらゆる面で積極的な経営を展開している会社である。勿論、事業としての成功が前提ではあるが現在40名のスタッフの多くが同社の技術力と将来性に共感し、ベンチャースピリットを持ったスペシャリスト集団として、日本発世界へ、の早期実現に向けて多くの外部協力を得て開発に注

## DATA

設立/1999年 資本金/3390万4000円  
従業員数/42名 事業内容/遺伝子治療薬HGF(肝細胞増殖因子)の研究・開発、製造、核酸医薬(デオイオリコ)の研究・開発、製造、新規ペプチドの研究・開発  
所在地/(東京支社) 〒108-0014 東京都港区芝5-20-14 三田鈴木ビル  
TEL/03-5730-2630

力している。商業化への確かな自信と技術力を背景にまさにわが国のバイオベンチャーの先駆けとして今後の同社の動向にはあついで視線を注ぎたいものである。日本でそして世界の未病医療革新を是非実現してほしいものである。